

要望書

国道 34 号大村諫早拡幅の整備促進を目指そう!!



諫早公園眼鏡橋



大村公園花菖蒲園

国道 3 4 号大村・諫早間整備促進期成会

国道34号大村・諫早間整備促進期成会

会員名簿

役職名	職名	氏名
会長	大村市長	園田 裕史
副会長	諫早市長	大久保 潔重
〃	大村市議会 議長	城 幸太郎
〃	諫早市議会 議長	南条 博
〃	大村商工会議所 会頭	中村 人久
〃	諫早商工会議所 会頭	永江 正澄
監事	大村市タクシー協会 会長	酒井 辰郎
〃	(一社) 諫早観光物産コンベンション協会 会長	酒井 明仁
会員	長崎県中央農業協同組合 代表理事組合長	真壁 正二郎
〃	長崎県トラック協会 大村支部長	村里 宏治
〃	長崎県トラック協会 諫早支部長	山口 健
〃	諫早市タクシー協会 会長	永尾 典嗣
〃	(一社) 大村市観光コンベンション協会 会長	酒井 辰郎
〃	(一社) 大村市物産振興協会 会長	伊瀬 浩三
〃	長崎空港ビルディング(株) 代表取締役社長	衛藤 勇

顧問名簿

役職名	職名	氏名
顧問	衆議院議員	加藤 竜祥
〃	衆議院議員	山田 勝彦
〃	参議院議員	古賀 友一郎
〃	参議院議員	山本 啓介

落葉の候 貴台におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より大村市・諫早市の道路行政全般に関し、格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

大村市・諫早市は、長崎県の中央に位置し、長崎空港や長崎自動車道インターチェンジ、現在整備中である島原道路を基盤とした高速交通の拠点都市であり、県内の交通の要衝となっております。また、西九州新幹線が令和4年9月に開業し、駅周辺の開発等も相まって今後ますます地域間の交流・連携が促進され、産業・交流都市として更なる飛躍を目指しております。

さて、本期成会の要望項目である、一般国道34号大村諫早拡幅事業につきまして、今年度は道路設計及び用地買収が予定され、早期完成に向けた取り組みが着実に進められていることに厚くお礼申し上げます。また、両市で設置した国道34号大村諫早拡幅推進支援本部を通して長崎河川国道事務所とも情報共有を図り、事業促進に努めております。

昨今のエネルギーや食料価格の高騰等により、両市を含め地域経済に大きな影響が出ており、地域経済の回復が急務であります。

つきましては、県央地域の経済活性化・発展を推進するには、一般国道34号大村諫早拡幅の整備が不可欠であり、整備促進に向け引き続き、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

- 一 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の最終年度となる令和7年度においても、物価高騰なども踏まえ、必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害状況を踏まえた上で、切れ目無く、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、必要な事業規模と期間を盛り込んだ国土強靱化実施中期計画の策定を令和6年度内に完了させ、必要な予算・財源を別枠で確保することを要望いたします。
- 一 地域経済を支えるため、成長力及び国際競争力の強化、更には、生産性向上の観点から、公共事業に関する令和6年度補正予算について速やかに編成し、例年を大幅に上回る規模で確保することを要望いたします。
- 一 大規模自然災害に即応するための地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保について要望いたします。
- 一 資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも必要な道路整備・管理等が長期安定的に進められるよう、令和6年度補正予算を速やかに編成し、新たな財源の創設等により令和7年度の道路予算における所要額の満額確保について要望いたします。
- 一 県央地域における物流、観光及び地域経済を支え、他の地域との連携強化や交流人口拡大、社会経済活動の活性化など長崎県全体の発展に寄与する、「一般国道34号大村諫早拡幅の整備促進」について要望いたします。

一般国道34号大村諫早拡幅の整備促進について

本県を南北に走る主要幹線道路の一般国道34号は、諫早市側の本野入口交差点改良事業及び大村市側の大村拡幅事業により、それぞれ4車線化され、渋滞緩和など一定の効果が現れています。

しかしながら、両事業区間を結ぶ大村市与崎から諫早市本野間の4.4kmが2車線のままで、ボトルネックとなっていることから、一日約3万台にもおよぶ交通に対応できず、通勤時間帯を中心に混雑が恒常化しており、交通事故発生時には更なる渋滞が発生するなど、社会・経済活動の支障となっています。さらには、近年全国各地で激甚化する豪雨災害の発生が問題化しており、本事業区間においても、雨水排水対策の重要性が高まっていると認識しております。

本区間は、県央生活圏における交通ネットワークの重要な路線であり、当該区間の整備により、地域間交流が益々促進され、県央地域の更なる発展に大きく貢献するものがあります。

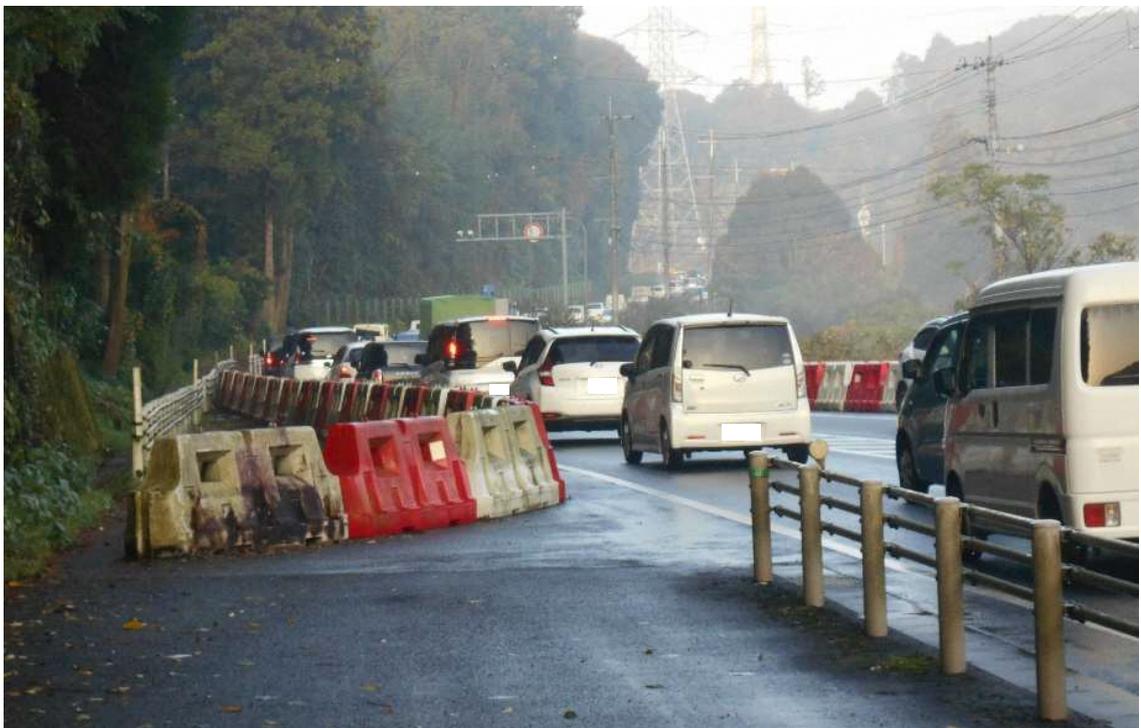
また、令和4年9月に西九州新幹線が開業したことで、交通量の大幅な増加も見込まれることから、本区間の4車線化の必要性はさらに増しています。

本国道が交通・物流による地域経済の活性化にとどまらず、国土強靱化においても極めて重要な役割を担う主要幹線道路であることから、**大村諫早拡幅事業の整備促進**について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

二本松バス停付近状況(大村市側)



花高入口交差点付近状況(諫早市側)



与崎交差点付近冠水状況(令和2年7月)

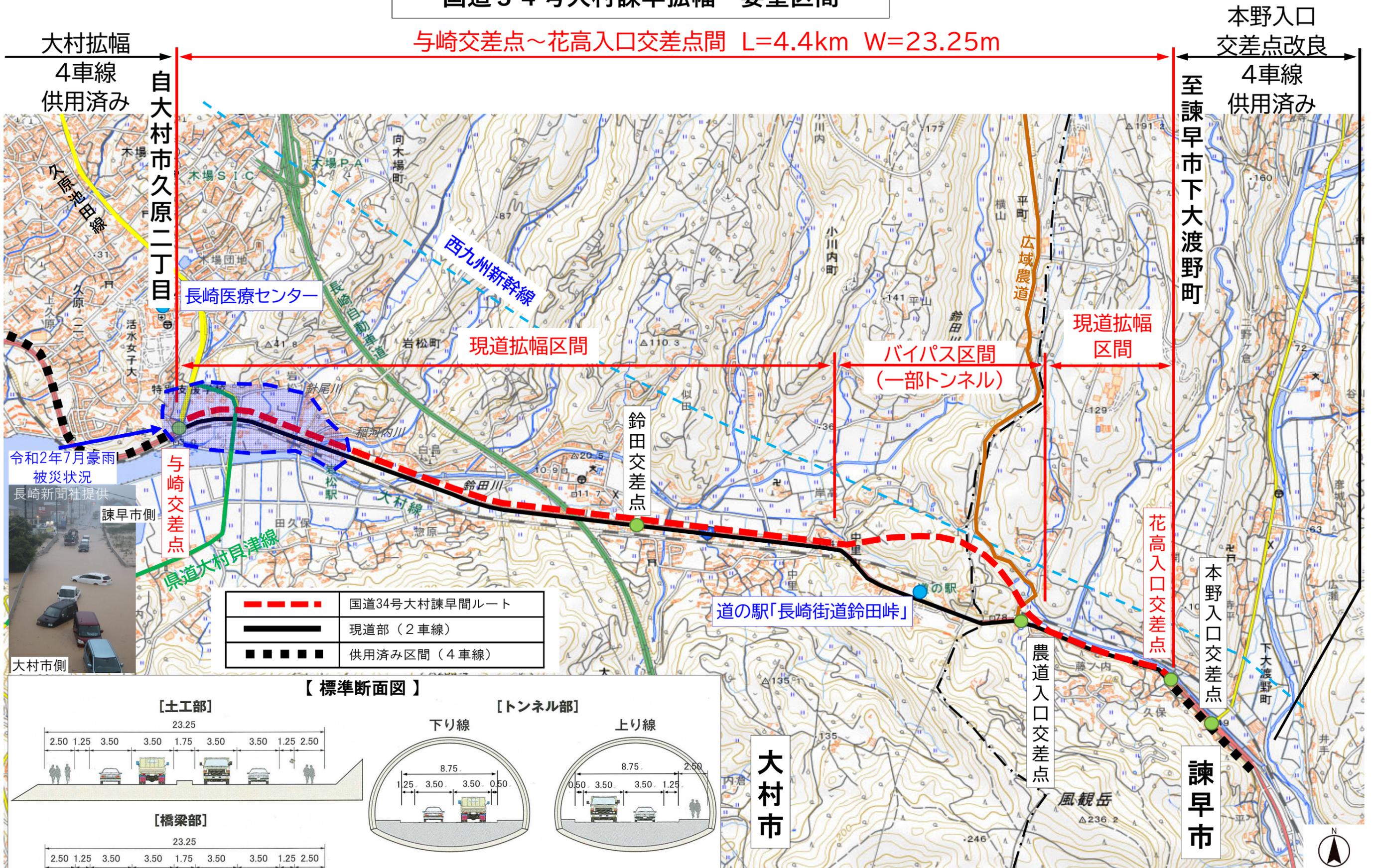


与崎交差点付近事故状況



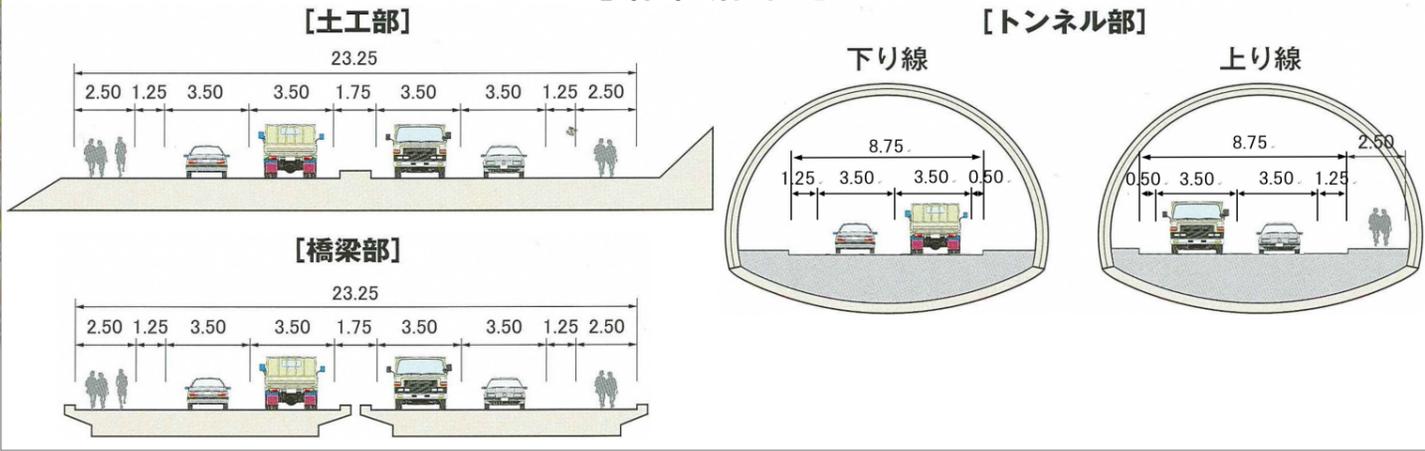
国道34号大村諫早拡幅 要望区間

与崎交差点～花高入口交差点間 L=4.4km W=23.25m



	国道34号大村諫早間ルート
	現道部 (2車線)
	供用済み区間 (4車線)

【標準断面図】

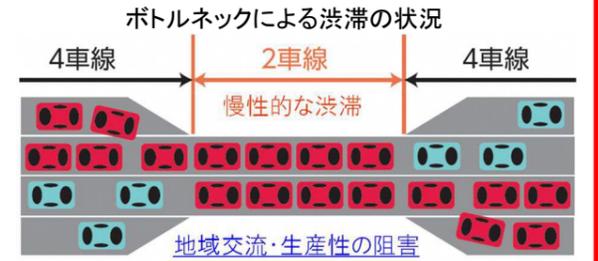


大村市

諫早市



国道34号は長崎県央地域の大動脈



地域ポテンシャルをさらに高めて、地域創生へ貢献



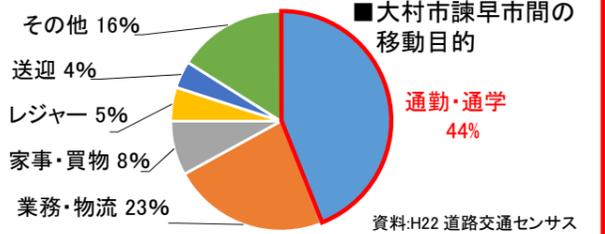
医療センター内の消防署機能を活かし、高度な救命措置により救命率の向上へ

西九州新幹線 令和4年9月開業
島原道路

平成30年3月開通

年間利用者数 326万人(H30)

■諫早市から医療センターへのルート別搬送件数



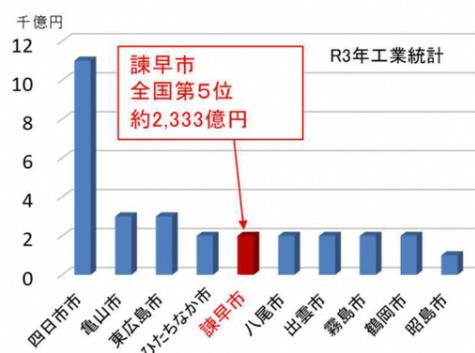
大村市諫早市は生活圏が一体

- * 「新幹線・高速道路・空港」高速交通ネットワークの充実
- * ポテンシャルを高めて、定住拠点・交流人口を促進

半導体関連企業の集積化・産業連携強化で地域経済活性化を図り、雇用を創出



■電子部品・デバイス・電子回路製造品出荷額



ハイテク産業が地域経済を牽引

第2大村ハイテクパーク



南諫早産業団地



4車線化によって速達性・生産性が大きく向上

- * 工業団地の拡張、高まる投資に応える交通ネットワークの充実
- * 圏域の一体性をさらに高めて生産性の向上と雇用創出の促進